

ワイヤレスイヤホンセット 02

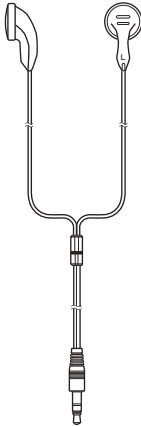
取扱説明書

- この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。そのあと大切に保存し、必要なときお読みください。
- ご使用のFOMA端末が対応機種であることを、FOMA端末の取扱説明書でご確認ください。またご使用前に、FOMA端末の取扱説明書をあわせてお読みください。

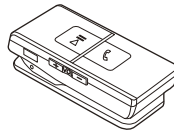
商標について

- Bluetooth®とそのロゴマークは、Bluetooth SIG, INC の登録商標で、株式会社NTTドコモはライセンスを受けて使用しています。その他の商標および名称はそれぞれの所有者に帰属します。
- 「FOMA」はNTTドコモの登録商標です。
- 「キャッチホン」は日本電信電話株式会社の登録商標です。
- フリーダイヤルサービス名称とフリーダイヤルロゴマークはNTTコミュニケーションズ株式会社の登録商標です。

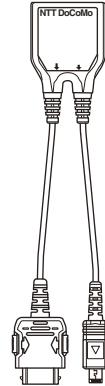
構成品



イヤホン



リモコン



充電分岐ケーブル




目次

構成品	1
安全上のご注意	2
1 特長	5
2 Bluetooth機能について	6
3 ご使用方法	7
4 Bluetooth機能でワイヤレス接続する	9
5 ハンズフリー通話をする	11
6 FOMA端末の音楽やワンセグの音声などを聴く	13
7 故障かな?と思ったら、まずチェック	14
8 定格/仕様	15





安全上のご注意

必ずお守りください

- ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。また、お読みになった後は大切に保管してください。
- ここに示した注意事項は、お使いになる人や、他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐための内容を記載していますので、必ずお守りください。
- 次の表示の区分は、表示内容を守らず、誤った使用をした場合に生じる危害や損害の程度を説明しています。

 危険	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される」内容です。
 警告	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。
 注意	この表示は、取り扱いを誤った場合、「傷害を負う可能性が想定される場合および物的損害のみの発生が想定される」内容です。






■ 次の絵表示の区分は、お守りいただく内容を説明しています。



 禁止	禁止(してはいけないこと)を示します。	 分解禁止	分解してはいけないことを示す記号です。
 水濡れ禁止	水がかかる場所で使用したり、水に濡らしたりしてはいけないことを示す記号です。	 指示	指示に基づく行為の強制(必ず実行していただくこと)を示します。

- ラベルに記載されている表示により、内蔵電池の種類をご確認ください。


表示：Li-ion 電池の種類：リチウムイオン電池（リチウムポリマー電池）









危険


- 火のそば、直射日光の当たる場所、炎天下の車内などの高温の場所で使用、保管、放置しないでください。
 -  **禁止** 機器の変形、故障や、内蔵電池の漏液、発熱、破裂、発火、性能や寿命の低下の原因となります。また、ケースの一部が熱くなり、やけどの原因となることがあります。
- 火の中に投下しないでください。
 -  **禁止** 内蔵電池を漏液、発熱、破裂、発火させる原因となります。
- 釘を刺したり、ハンマーで叩いたり、踏みつけたりしないでください。
 -  **禁止** 内蔵電池を漏液、発熱、破裂、発火させる原因となります。
- 分解、改造をしないでください。また、ハンダ付けしないでください。
 -  **分解禁止** 内蔵電池を漏液、発熱、破裂、発火させる原因となります。また、内蔵電池を漏液、発熱、破裂、発火させる原因となります。
- 濡らさないでください。
 -  **水濡れ禁止** 水やベッドの尿などの液体が入ると発熱、感電、火災、故障、けがなどの原因となります。使用場所、取り扱いにご注意ください。



- 本器に使用するアダプタ（充電器含む）は、ドコモグループ各社が指定したものを使用してください。
 -  **指示** 指定品以外のものを使用した場合は、内蔵電池を漏液、発熱、破裂、発火、故障させる原因となります。
 - FOMA ACアダプタ 01
 - FOMA ACアダプタ 02
 - FOMA 海外兼用 ACアダプタ 01※ その他互換性のある商品についてはドコモショップなど窓口までお問い合わせください。
- 内蔵電池内部の液体が目の中に入ったときは、こすらず、すぐにきれいな水で洗った後、直ちに医師の診療を受けてください。
 -  **指示** 失明の原因となります。

警告












- 電子レンジなどの加熱調理機器や高圧容器に、本器やアダプタ（充電器含む）を入れないでください。
 -  **禁止** 内蔵電池を漏液、発熱、破裂、発火させたり、本器、アダプタ（充電器含む）の発熱、発煙、発火や回路部品を破壊させる原因となります。

- 強い衝撃を与えたり、投げ付けたりしないでください。
 内蔵電池の漏液、発熱、破裂、発火や機器の故障、火災の原因となります。
 禁止
- コネクタ端子に導電性異物（金属片、鉛筆の芯など）が触れないようにしてください。また内部に入れないようにしてください。
 ショートによる火災や故障の原因となります。
 禁止
- 医用電気機器などを装着している場合は、胸ポケットや内ポケットへの装着はおやめください。本器を医用電気機器などの近くで使用すると、医用電気機器などの故障の原因となる恐れがあります。
 禁止
- 落下による変形や傷など外部からの衝撃により本器に異常が見られた場合は、直ちに使用をやめてください。
 指示 内蔵電池の漏液、発熱、破裂、発火や機器の故障、火災の原因となります。
- 使用中、充電中、保管時に、異臭、発熱、変色、変形など、いままどと異なるときは、直ちに次の作業を行ってください。
 指示
 1. 電源プラグをコンセントから抜く。
 2. 本器の電源を切る。
 そのまま使用すると発熱、破裂、発火または内蔵電池の漏液の原因となります。
- 航空機内や病院など、使用を禁止された区域では、本器の電源を切ってください。
 指示 電子機器や医用電気機器に影響を与える場合があります。医療機関内における使用については各医療機関の指示に従ってください。また、航空機内での使用などの禁止行為をした場合、法令により罰せられることがあります。
- 心臓の弱い方は、音量の設定に注意してください。心臓に影響を与える可能性があります。
 指示
- 高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器の近くでは、本器の電源を切ってください。電子機器が誤動作するなどの影響を与える場合があります。
 指示

※ご注意いただきたい電子機器の例
 補聴器、植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器、その他医用電気機器、火災報知器、自動ドア、その他の自動制御機器など。植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器をご使用される方は、当該の各医用電気機器メーカーもしくは販売業者に電波による影響についてご確認ください。
- 所定の充電時間を越えても充電が完了しない場合は、充電をやめてください。
 指示 内蔵電池を漏液、発熱、破裂、発火させる原因となります。

- 内蔵電池が漏液したり、異臭がするときは、直ちに使用をやめて火気から遠ざけてください。
 指示 漏液した液体に引火し、発火、破裂の原因となります。
- ベットが本器に噛みつかないようにご注意ください。
 指示 内蔵電池の漏液、発熱、破裂、発火や機器の故障、火災の原因となります。

 **注意**

- ぐらついた台の上や傾いた場所など、不安定な場所には置かないでください。
 禁止 落下して、けがや故障の原因となります。
- 湿気やほこりの多い場所や高温になる場所には、保管しないでください。
 禁止 故障の原因となります。
- ストラップなどを持って本器を振り回さないでください。
 禁止 本人や他の人などに当たり、けがなどの事故や故障および破損の原因となります。
- 磁気カードなどを本器に近づけないでください。
 禁止 キャッシュカード、クレジットカード、テレホンカード、フロッピーディスクなどの磁気データが消えてしまうことがあります。
- 一般のゴミと一緒に捨てないでください。
 禁止 発火、環境破壊の原因となることがあります。不要となった場合は、ドコモショップなど窓口にお持ちいただき、回収を行っている市町村の指示に従ってください。
- 濡れた本器を充電しないでください。
 禁止 内蔵電池を発熱、発火、破裂させる原因となります。
- イヤホン使用時は音量を上げすぎないでください。耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。
 禁止
- お客様の体質や体調によっては、かゆみ、かぶれ、湿疹などが生じることがあります。異状が生じた場合は、直ちに使用をやめ、医師の診療を受けてください。
 指示 リモコンのボタン面に金属を使用しています。素材：アルミニウム
 表面処理：ハードコート
- 子供が使用する場合は、保護者が取り扱いの内容を教えてください。また、使用中においても、指示どおりに使用しているかをご確認ください。
 指示 けがなどの原因となります。
- 乳幼児の手の届かない場所に保管してください。
 指示 誤って飲み込んだり、けがなどの原因となります。
- 内蔵電池内部の液体が皮膚や衣服に付着した場合は、直ちに使用をやめてきれいな水で十分に洗い流してください。
 指示 皮膚に傷害をおこす原因となります。

- 歩行中は音量を上げすぎないようにしてください。



音量を上げすぎると、外部の音が聞こえにくくなり、踏切や横断歩道で、交通事故の原因となることがあります。

医用電気機器近くでの取り扱いについて

- 本記載の内容は「医用電気機器への電波の影響を防止するための携帯電話端末等の使用に関する指針」（電波環境協議会）に準ずる。



警告

- 植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器を装着されている場合は、本器を使用しないでください。



禁止

電波により植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器の作動に影響を与える場合があります。

- 医療機関の屋内では次のことを守って使用してください。



指示

- ・手術室、集中治療室（ICU）、冠状動脈疾患監視病室（CCU）には本器を持ち込まないでください。
- ・病棟内では、本器の電源を切ってください。
- ・コピーなどであっても付近に医用電気機器がある場合は、本器の電源を切ってください。
- ・医療機関が個々に使用禁止、持ち込み禁止などの場所を定めている場合は、その医療機関の指示に従ってください。

- 満員電車の中など混雑した場所では、付近に植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器を装着している方がいる可能性がありますので、本器の電源を切るようにしてください。



指示

電波により植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器の作動に影響を与える場合があります。

- 自宅療養などにより医療機関の外で、植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器以外の医用電気機器を使用される場合には、電波による影響について個別に医用電気機器メーカーなどにご確認ください。



指示

電波により医用電気機器の作動に影響を与える場合があります。

取り扱い上のご注意

- 水をかけないでください。
ワイヤレスイヤホンセットは防水仕様にはなっておりません。風呂場など、湿気の多い場所でのご使用や、雨などがかかることはおやめください。

調査の結果、これらの水濡れによる故障と判明した場合、保証対象外となり修理できないことがありますので、あらかじめご了承ください。

- アダプタ（充電器含む）に添付されている個別の取扱説明書をよくお読みください。

- 電池は消耗品です。
使用状態などによって異なりますが、十分に充電しても使用時間が極端に短くなったときは、内蔵電池の寿命の可能性があります。

その場合は、裏面の「故障お問い合わせ先」にご連絡のうえ、ご相談ください。

- 充電は、適正な周囲温度（5℃～35℃）の場所で行ってください。

- 初めてお使いのときや、長時間ご使用にならなかったときは、ご使用前に必ず充電してください。

- 内蔵電池の使用時間は、使用環境や電池の劣化度により異なります。

- 内蔵電池は、電池残量なしの状態を保管、放置をしないでください。

内蔵電池の性能や寿命を低下させる原因となります。

- 自動車などを運転中のFOMA端末の使用にはご注意ください。

運転中は、携帯電話を保持して使用すると罰則の対象となります。

やむを得ず電話を受ける場合は、ハンズフリーで「かけ直す」ことを伝え、安全な場所に停車してから発信してください。

- 日本国内で使用してください。

本器は日本国内での無線規格に準拠し認定を取得しています。海外でご使用になると罰せられることがあります。

- 長時間（1日以上）の充電はしないでください。

- 充電しながら、ワイヤレス接続はできません。ワイヤレスイヤホンセットを使用するときは、充電しないでください。

- 低温下では使用時間が短くなります。低温下での使用では、電池の性能を十分発揮できません。できるだけ常温（20℃）付近で使用してください。

- 指定のFOMA端末以外には使用しないでください。

- 騒音のひどいところや強風下でのご使用は避けてください。

- 耳に刺激を与えすぎないように、適度な音量でご使用ください。イヤホンは開放型のため音が外にもれますので、周囲の人に迷惑にならないようにご注意ください。

- コードを強く引っ張らないでください。

またコードは、リモコンなどに巻き付けたりしないでください。

- リモコンのクリップに無理な力を加えないでください。

- 本器が汚れたら、乾いた柔らかい布（めがね拭きなど）で汚れを拭き取ってください。濡れたぞうきんなどで拭くと、故障の原因となります。また、アルコール、シンナー、ベンジン、洗剤などで拭くと、印刷が消えたり変色したりすることがありますので、使用しないでください。
- 化学ぞうきんは、注意書きをよく読んで使用してください。

- 環境保全のため、不要になったリモコンはNTT DoCoMoまたは代理店、リサイクル協力店等にお持ちください。



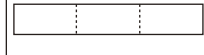
Li-ion 00

Bluetooth 機器使用上の注意事項

本製品の使用周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ラインなどで使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定小電力無線局、アマチュア無線局など（以下「他の無線局」と略します）が運用されています。

1. 本製品を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
2. 万が一、本製品と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合には、速やかに使用場所を変えるか、「電源を切る」など電波干渉を避けてください。
3. その他、ご不明な点につきましては、取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。

2.4 FH 1



この無線機器は2.4GHz 帯を使用します。

変調方式としてFH-SS 変調方式を採用し、与干渉距離は10m以下です。全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避不可です。

- 電気通信端末機器認定表示について
リモコンは電気通信事業法に基づく専用通信回線設備等端末として、技術基準適合認定を受けております。以下のことを行うと法律により罰せられることがあります。
 - ・リモコンを分解・改造すること
 - ・リモコンのクリップ面に貼られている認定表示ラベルを剥がすこと
- すべてのBluetooth機能搭載機器は、Bluetooth SIG が定めている方法でBluetooth標準規格に適合していることを確認し、認証を取得しています。ただし、接続する機器の特性や仕様によっては、操作方法が異なったり、接続してもデータのやりとりができない場合があります。

1 特長

- Bluetooth機能を搭載したFOMA端末とワイヤレス接続をして、ハンズフリー通話をしたり、FOMA端末の音楽やワンセグの音声などを聴くことができます。
- リモコンで、リダイヤルやボイスダイヤルの発信、着信を受けるなどの操作ができます。また音楽の再生や停止などの操作ができます。

2 Bluetooth機能について

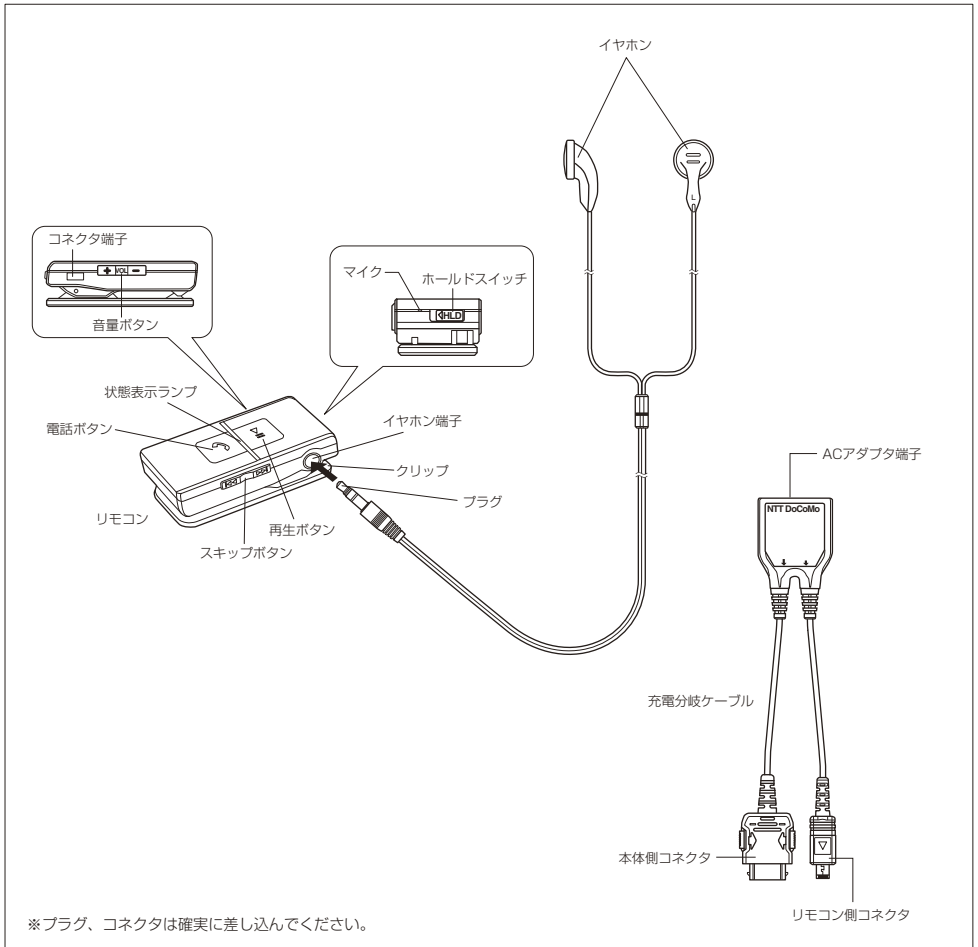
- Bluetooth標準規格Ver. 1.1以上準拠の携帯電話とワイヤレス接続することができます。
ハンズフリー通話をするためには、FOMA端末がHands-Free Profileに対応していることが必要です。またFOMA端末の音楽を聴くためには、FOMA端末がAdvanced Audio Distribution ProfileおよびAudio/Video Remote Control Profileに対応していることが必要です。
- Bluetooth無線技術とはFOMA端末やパソコンなどのBluetooth対応機器どうしをワイヤレスで接続する技術です。機器どうしを向き合わせる必要がなく、機器を鞆やポケットに入れたままでも接続できます。
ただしワイヤレスイヤホンセットとFOMA端末の間
に身体を挟むと雑音の原因になることがあります。

良好なワイヤレス接続を行うために

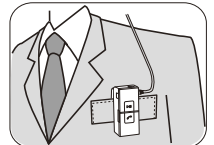
- FOMA端末とは、見通し距離約10m以内で接続してください。周囲の環境（壁、家具など）や建物の構造によっては、接続可能距離が短くなります。
ワイヤレスイヤホンセットとFOMA端末の間に障害物がある場合も、接続可能距離は短くなります。特に鉄筋コンクリートの建物では、上下の階や左右の部屋など鉄筋の入った壁を挟んで設置した場合、接続できないことがあります。上記接続距離を保証するものではありませんので、ご了承ください。
- 他の機器（電気製品／AV機器／デジタルコードレス電話機／ファックスなど）から2m以上離れて接続してください。（特に電子レンジ使用時は影響を受けやすいため、必ず3m以上離れてください。）近づいていると、他の機器の電源が入っているときに正常に接続できなかったり、テレビやラジオの雑音や受信障害の原因になったりすることがあります。（UHFや衛星放送の特定チャンネルではテレビ画面が乱れることがあります。）
- 放送局や無線機などが近く、正常に接続できないときは、ワイヤレスイヤホンセットおよびFOMA端末の場所を変更してください。周囲の電波が強すぎると、正常に接続できないことがあります。
- ワイヤレスLANと電波干渉について
Bluetooth機器とワイヤレスLAN（IEEE 802.11b/g）は同一周波数帯（2.4GHz）を使用するため、ワイヤレスLANを搭載した機器の近辺で使用すると、電波干渉が発生し、通信速度の低下、雑音や接続不能の原因になる場合があります。この場合、次の対策を行ってください。
 - ・ ワイヤレスLANと、ワイヤレスイヤホンセットおよびFOMA端末を10m以上離してください。
 - ・ 10m以内で使用する場合は、ワイヤレスLANの電源を切ってください。

3 ご使用方法

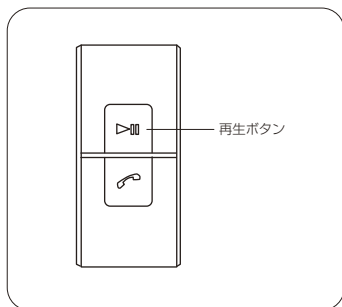
各部の名称



- ワイヤレスイヤホンセットは、リモコンとイヤホンを接続して使用します。
リモコンのクリップを使用すると、胸ポケットなどに留めておくことができます。
- イヤホンは、「R」を右耳に「L」を左耳にしてください。
- 通話などモノラルの音は、左右のイヤホンから同じ音が聞こえます。

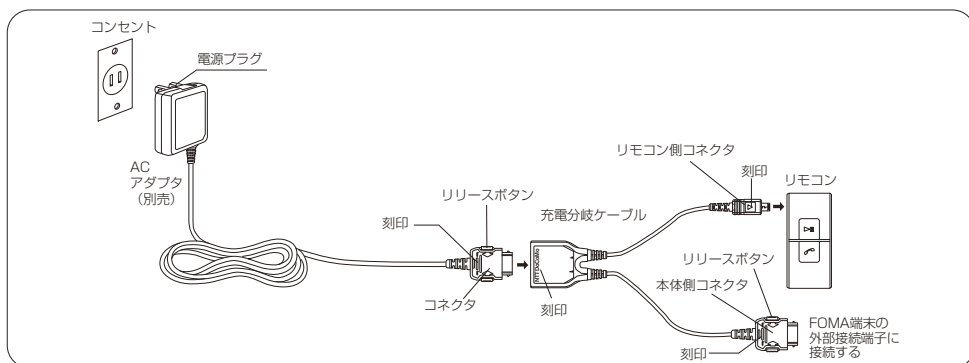


電源を入れる／切る



- 電源を入れるときは、[再生ボタン]を押します。電源が入ると、状態表示ランプが約2秒青色点灯してイヤホンから「ピー」と音が鳴り、接続待ち状態となります。
※ [再生ボタン]を3秒以上押しと、ワイヤレス接続の検索待ち状態となりますのでご注意ください。
- 電源が入っているときに、[再生ボタン]を2秒以上押しと、イヤホンから「ピー」と音が鳴り状態表示ランプが約2秒赤色点灯して電源が切れます。
※ 電源を入れた状態で放置すると、内蔵電池が消耗しますので、ご使用にならないときは電源を切ってください。

充電のしかた



- ACアダプタ、充電分岐ケーブルと接続して充電します。
充電分岐ケーブルをFOMA端末に接続して、同時に充電することもできます。
 - 電池残量がほとんどなくなったときは、イヤホンからアラームが鳴ります。また電源が入っているときにリモコンのいずれかのボタンを押すと、状態表示ランプが電池残量の目安を約5秒表示します。電池残量がほとんどなくなったら充電してください。
電池残量の目安は以下のようになります。
 - ・ 十分残っているとき : 青色点灯
 - ・ 少なくなっているとき : 赤色点灯
 - ・ ほとんど残っていないとき : 赤色点滅※ ワイヤレスイヤホンセットの電源を入れていても、充電を開始すると電源が切れます。
- ① 充電分岐ケーブルのリモコン側コネクタの刻印面を上にして、リモコンのコネクタ端子へ水平に差し込みます。
FOMA端末も同時に充電する場合は、充電分岐ケーブルの本体側コネクタをFOMA端末に差し込みます。本体側コネクタの差し込み方法は、ACアダプタのコネクタの差し込み方法と同様ですので、FOMA端末の取扱説明書をご参照ください。
 - ② ACアダプタのコネクタの刻印面と充電分岐ケーブルのACアダプタ端子の刻印面をあわせて、水平に差し込みます。
 - ③ ACアダプタの電源プラグを起し、家庭用などのAC100Vのコンセントに差し込みます。
- 充電を開始すると、状態表示ランプが赤色点灯し、充電が完了すると、状態表示ランプが消灯します。
 - FOMA端末の電池残量がほとんど残っていないとき、充電分岐ケーブルにFOMA端末を接続して充電を開始した後にワイヤレスイヤホンセットを接続した場合、ワイヤレスイヤホンセットの充電開始までしばらくかかることがあります。
 - 充電時間の目安は、約150分です。
※ 充電時間の目安は、内蔵電池が空の状態から充電したときの時間です。
 - 本体側コネクタを抜くときは、コネクタの両側にあるリリースボタンを押しながら水平に引き抜いてください。また、リモコン側コネクタは、水平に抜いてください。無理に外そうとすると、故障の原因になります。

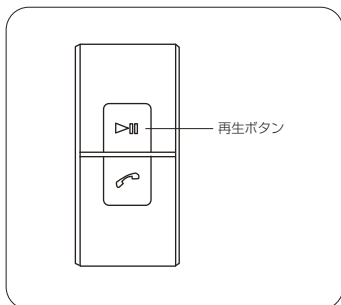
内蔵電池の使用時間の目安

- 内蔵電池の使用時間は、充電時間や電池の劣化度で異なります。
 - リモコンの連続使用時間の目安は以下のようになります。
 - ・連続通話時間：約5.5時間
 - ・連続音楽再生時間：約5.5時間
 - ・連続待受時間：約80時間
- ※連続音楽再生時間は、Bluetooth標準規格Ver2.0+EDR準拠のFOMA端末と接続している場合の目安です。
- ※連続待受時間は、ワイヤレス接続を「ハンズフリー」または「ヘッドセット」で行っている状態での目安です。「オーディオ」でワイヤレス接続をした場合は、待受時間は短くなる場合があります。
- ※各使用時間は、電池パックの充電状態、使用状態などにより短くなる場合があります。

4 Bluetooth機能でワイヤレス接続する

- ワイヤレスイヤホンセットとFOMA端末をBluetooth機能でワイヤレス接続します。
- ワイヤレスイヤホンセットとFOMA端末をBluetooth機能で接続するときは、最初の1回のみFOMA端末にワイヤレスイヤホンセットを登録する必要があります。
- ワイヤレスイヤホンセットは、複数のFOMA端末と同時にワイヤレス接続して使用しないでください。

ワイヤレスイヤホンセットをFOMA端末に登録する



- ① ワイヤレスイヤホンセットの電源を切った状態で、[再生ボタン]を3秒以上押し、検索待ち状態（状態表示ランプが約1秒間隔で赤色と青色に交互点滅）にします。
 - ② ワイヤレスイヤホンセットが検索待ち状態のときに、FOMA端末でワイヤレスイヤホンセットを検索し登録します。
- ※ FOMA端末の機器検索から登録までの操作は、60秒以内で行ってください。60秒を超えてしまった場合は、一旦ワイヤレスイヤホンセットの電源を切り、再度 [再生ボタン] を3秒以上押し、FOMA端末での登録操作を行ってください。
- ※ 登録のしかたについては、FOMA端末の取扱説明書をお読みください。
- ※ ワイヤレスイヤホンセットのBluetoothパスキーは「0000」です。
- ※ FOMA端末に登録するときに、複数の機器を検索した場合は、ワイヤレスイヤホンセットの機器名称「DoCoMo Wireless 02」を選択してください。FOMA端末によっては、機器名称がすべて表示されない場合があります。

ワイヤレスイヤホンセットとFOMA端末をワイヤレス接続する

- あらかじめワイヤレスイヤホンセットをFOMA端末に登録しておく必要があります。
- ワイヤレスイヤホンセットでハンズフリー通話をするときは、FOMA端末と「ハンズフリー」または「ヘッドセット」でワイヤレス接続してください。またワイヤレスイヤホンセットでFOMA端末の音楽やワンセグの音声などを聴くときは、FOMA端末と「オーディオ」でワイヤレス接続してください。音楽を聴いているときにハンズフリーで電話を受けるなど、ハンズフリー通話と音楽鑑賞の両方をするためには、ワイヤレスイヤホンセットとFOMA端末を「ハンズフリー」または「ヘッドセット」、「オーディオ」の両方でワイヤレス接続しておく必要があります。
- ワイヤレス接続が切れた状態が約10分続いたときは、自動的にワイヤレスイヤホンセットの電源が切れます。

「ハンズフリー」でワイヤレス接続する

- ワイヤレスイヤホンセットとFOMA端末を「ハンズフリー」でワイヤレス接続します。
- ① ワイヤレスイヤホンセットの電源を入れて、接続待ち状態にします。
 - ※ワイヤレスイヤホンセットが最後にFOMA端末と「ハンズフリー」で接続されていた場合、接続待ち状態になってから約5秒接続相手を探し、接続可能なFOMA端末があるときは、自動的に「ハンズフリー」でワイヤレス接続ができます。接続可能なFOMA端末は、ワイヤレスイヤホンセットが最後に登録されたFOMA端末となります。このとき②の操作は必要ありません。
 - ※接続待ち状態になってからの約5秒で接続相手が見つからない場合は、約1分毎に接続相手を探し、相手が見つからない状態が約10分続いたときは、自動的に電源が切れます。
- ② FOMA端末を操作して、ワイヤレスイヤホンセットとワイヤレス接続（ハンズフリー接続）します。ワイヤレス接続をすると、イヤホンから「ピッピッ」と音が鳴ります。
 - ※FOMA端末の操作のしかたは、FOMA端末の取扱説明書をお読みください。

「オーディオ」でワイヤレス接続する

- ワイヤレスイヤホンセットとFOMA端末を「オーディオ」でワイヤレス接続します。
- ① ワイヤレスイヤホンセットの電源を入れて、接続待ち状態にします。
 - ※接続待ち状態になっているときに[再生ボタン]を押すと、接続可能なFOMA端末を探し、自動的に「オーディオ」でワイヤレス接続します。接続可能なFOMA端末は、ワイヤレスイヤホンセットが最後に登録されたFOMA端末となります。このとき②の操作は必要ありません。
- ② FOMA端末を操作して、ワイヤレスイヤホンセットとワイヤレス接続（オーディオ接続）します。
 - ※FOMA端末の操作のしかたは、FOMA端末の取扱説明書をお読みください。
 - ※接続待ち状態になってから、約10分ワイヤレス接続をしなかったときは、自動的に電源が切れます。

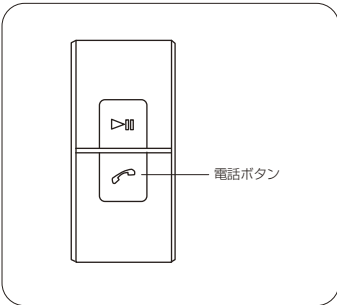
「ヘッドセット」でワイヤレス接続する

- ワイヤレスイヤホンセットとFOMA端末を「ヘッドセット」でワイヤレス接続します。
- ① ワイヤレスイヤホンセットの電源を入れて、接続待ち状態にします。
 - ※ワイヤレスイヤホンセットが最後にFOMA端末と「ヘッドセット」で接続されていた場合、接続待ち状態になってから約5秒接続相手を探し、接続可能なFOMA端末があるときは、自動的に「ヘッドセット」でワイヤレス接続ができます。接続可能なFOMA端末は、ワイヤレスイヤホンセットが最後に登録されたFOMA端末となります。このとき②の操作は必要ありません。
 - ※接続待ち状態になってからの約5秒で接続相手が見つからない場合は、約1分毎に接続相手を探し、相手が見つからない状態が約10分続いたときは、自動的に電源が切れます。
- ② FOMA端末を操作して、ワイヤレスイヤホンセットとワイヤレス接続（ヘッドセット接続）します。ワイヤレス接続をすると、イヤホンから「ピッピッ」と音が鳴ります。
 - ※FOMA端末の操作のしかたは、FOMA端末の取扱説明書をお読みください。

5 ハンズフリー通話をする

- ハンズフリー通話をするときは、あらかじめワイヤレスイヤホンセットとFOMA端末をワイヤレス接続（ハンズフリー接続またはヘッドセット接続）してください。
- ハンズフリー通話をしているときに、FOMA端末を操作して、FOMA端末での通話に切り替えることができます。操作のしかたは、FOMA端末の取扱説明書をお読みください。またFOMA端末で通話をしているときにワイヤレスイヤホンセットとFOMA端末がワイヤレス接続されていると、リモコンの【電話ボタン】を1秒以上押してハンズフリー通話に切り替えることができます。
- ホールドスイッチをマイク側にスライドするとリモコンの操作ができなくなります。ただし着信、応答保留、通話のときは、電話ボタンの操作と音量調節ができます。解除するときは、ホールドスイッチを元に戻してください。

電話をかける



- FOMA端末のボイスダイヤル呼出やリダイヤルで電話をかけることができます。リダイヤルができるのは、最後にかけた電話番号のみです。
「ヘッドセット接続」をしている場合、リダイヤルで電話をかけることはできません。
 - ボイスダイヤル呼出で電話をかける場合は、FOMA端末でも設定が必要です。設定のしかたについては、FOMA端末の取扱説明書をお読みください。
- ① 【ボイスダイヤル呼出で自動的に発信する】
- FOMA端末の設定を、ボイスダイヤルで呼び出した電話番号に自動的に発信するようにします。
【電話ボタン】を押してボイスダイヤルで電話番号を呼び出すと、自動的に発信します。
- 【ボイスダイヤル呼出で発信する（ヘッドセット接続の場合のみ）】
【電話ボタン】を押してボイスダイヤルで電話番号を呼び出し、【電話ボタン】を押すと発信します。
- 【リダイヤル発信する（ハンズフリー接続の場合のみ）】
【電話ボタン】を1秒以上押すと、リダイヤル発信します。
- ② 電話がかかり、相手につながったら通話ができます。
- ※ FOMA端末にオールロックやセルフモードなど発信を規制する設定をしている場合は、発信できません。
 - ※ FOMA端末にシークレットモードで登録された電話番号はボイスダイヤル呼出で発信できません。

電話を受ける

- ① 電話がかかってくると、イヤホンから着信音が鳴ります。
- ② 【電話ボタン】を押すと、通話ができます。
- 着信音が鳴っているときに【電話ボタン】を1秒以上押すと着信拒否となり、電話が切れます。「ヘッドセット接続」をしている場合、着信拒否をすることはできません。
- 音楽を聴いているときに電話が掛かってきた場合は、自動的に音楽再生を停止し、着信音が鳴りません。通話を終了すると、再び音楽を再生します。
※ご使用のFOMA端末により、通話を終了しただけでは音楽が再生されない場合があります。

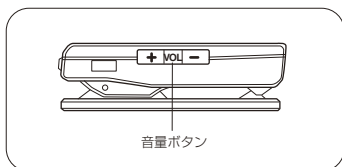
通話を終了する

- 「電話ボタン」を押すと、通話が終了します。
- 相手が先に通話を終了した場合は、自動的に通話が終了します。（自動終話機能）

切替通話をする

- キャッチホンをご利用の方のみご使用になれます。
- キャッチホンの操作のしかたは、FOMA端末の取扱説明書をお読みください。
- 通話中に電話がかかってきたときに、「電話ボタン」を押すと新しい相手と通話ができます。このとき、最初の通話は保留状態となります。
- また「電話ボタン」を押して、通話の相手を切り替えることができます。

音量を調節する

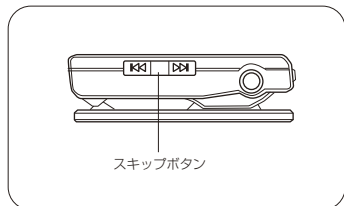
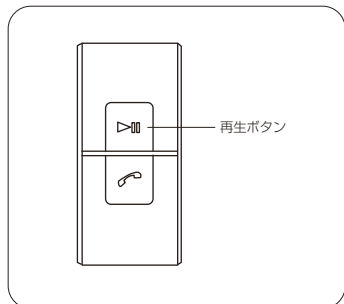


- 音量を8段階で調節することができます。（お買い上げ時は、レベル4に設定されています。）
- 音量を上げるときは「+」、下げるときは「-」を押します。「+」または「-」を押し続けると、音量の変更を続けてできます。
- 音量が最大のときに「+」を押したり、最小のときに「-」を押しても音量は変更できません。

6 FOMA端末の音楽やワンセグの音声などを聴く

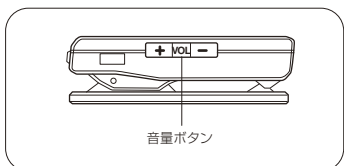
- FOMA端末の音楽やワンセグの音声などを聴くときは、あらかじめワイヤレスイヤホンセットとFOMA端末をワイヤレス接続（オーディオ接続）してください。
- ホールドスイッチをマイク側にスライドするとリモコンの操作ができなくなります。ただし着信、応答保留、通話のときは、電話ボタンの操作と音量調節ができます。解除するときは、ホールドスイッチを元に戻してください。

音楽やワンセグの音声などを聴く



- ① FOMA端末を操作して、音楽やワンセグの音声などをBluetooth機器に出力します。
※FOMA端末での操作のしかたはFOMA端末の取扱説明書をお読みください。
- ② イヤホンから音楽やワンセグの音声などが聴こえます。
 - 音楽再生中の操作
 - ・一時停止
[再生ボタン] を押します。
一時停止中に押すと、再生になります。
 - ・とび越し（スキップ）
次の曲に進む： [▶▶] を押します。
曲の頭に戻る： [◀◀] を押します。
[◀◀] を2回押すと、前の曲に戻ります。
※ご使用のFOMA端末により、動作が異なる場合がありますので、FOMA端末の取扱説明書もあわせてお読みください。
 - ワンセグ視聴中の操作
 - ・チャンネル選局
次のチャンネルを選局： [▶▶] を押します。
前のチャンネルを選局： [◀◀] を押します。
 - ビデオ再生中の操作
早送り： [▶▶] を押します。
早戻し： [◀◀] を押します。
※ご使用のFOMA端末により、早送り／早戻しができない場合があります。
 - 操作のしかたについては、FOMA端末の取扱説明書もあわせてお読みください。

音量を調節する



- 音量を15段階で調節することができます。
(お買い上げ時は、レベル8に設定されています。)
- 音量を上げるときは [+]、下げるときは [-] を押します。
[+] または [-] を押し続けると、音量の変更を続けてできます。
- 音量が最大のときに [+] を押ししたり、最小のときに [-] を押ししても音量は変更できません。

7 故障かな？と思ったら、まずチェック

- 下記の点検をしても直らないときは、「故障お問い合わせ先」までお問い合わせください。

こんなとき	考えられる原因と直し方
電源が入らない	<ul style="list-style-type: none"> ● 電池切れになっていませんか？ → 充電してください。
充電ができない 充電表示をしない	<ul style="list-style-type: none"> ● ACアダプタの電源プラグがコンセントに確実に差し込まれていますか？ → もう一度確実に差し込んでください。 ● 充電分岐ケーブルのコネクタがリモコンに確実に差し込まれていますか？ またACアダプタのコネクタが充電分岐ケーブルのコネクタ端子に確実に差し込まれていますか？ → もう一度確実に差し込んでください。
充電時間が短い 充電時間が長い	<ul style="list-style-type: none"> ● 内蔵電池の残量がある場合は、充電時間が短くなります。 ● 周囲温度が5℃～35℃以内ですか？ → 常温でご使用ください。
FOMA端末から接続できない	<ul style="list-style-type: none"> ● ワイヤレスイヤホンセットとFOMA端末が離れすぎていませんか？ → ワイヤレスイヤホンセットとFOMA端末を近づけてください。
FOMA端末で機器登録ができない	<ul style="list-style-type: none"> ● ワイヤレスイヤホンセットとFOMA端末が離れすぎていませんか？ → ワイヤレスイヤホンセットとFOMA端末を近づけてください。 ● FOMA端末の機器検索から登録までの操作を60秒以内で行っていますか？ → 機器検索から登録までの操作は60秒以内で行ってください。
リモコンで操作ができない	<ul style="list-style-type: none"> ● ワイヤレスイヤホンセットがFOMA端末に機器登録されていて、接続されていますか？ → FOMA端末に機器登録をして、接続してください。 ● ワイヤレスイヤホンセットとFOMA端末が離れすぎていませんか？ → ワイヤレスイヤホンセットとFOMA端末を近づけてください。 ● リモコンのホールドスイッチがマイク側になっていませんか？ → ホールドスイッチを元に戻してください。
音声に雑音はいる	<ul style="list-style-type: none"> ● ワイヤレスイヤホンセットとFOMA端末の間に障害物はありませんか？ → 障害物がない状態にしてください。 ● ワイヤレスイヤホンセットとFOMA端末が離れすぎていませんか？ → ワイヤレスイヤホンセットとFOMA端末を近づけてください。 ● 近くにワイヤレスLANや無線機などありませんか？ → ワイヤレスイヤホンセットおよびFOMA端末をワイヤレスLANや無線機などから10m以上離してください。

8 定格／仕様

電 圧	3.7V	
使 用 電 池	Li-ion (リチウムイオン) 電池 (リチウムポリマー電池)	
容 量	150mAh	
充 電 時 間	約 150 分	
イヤホンのプラグ	ステレオミニプラグ (直径3.5mm、3極)	
イヤホンのインピーダンス	16 Ω (1kHz)	
イヤホン部最大入力	20mW	
Bluetooth機能	バージョン	Bluetooth 標準規格Ver.2.0+EDR
	出力	最大+4dBm (Power Class2)
	通信距離※1	見通し10m (最大)
	対応プロファイル※2	Hands-Free Profile Headset Profile Advanced Audio Distribution Profile (SCMS-T対応) Audio / Video Remote Control Profile
	機器名称	DoCoMo Wireless 02
	Bluetoothパスキー※3	0000 (固定)

※1 周囲の電波状況、障害物、設置環境などにより異なります。

※2 プロファイルは、Bluetooth機器の接続手順を製品の特性ごとに標準化したものです。

※3 Bluetooth機器を他人に許可なく使用されないためのパスワードです。

定格／仕様および外観は、性能向上のため予告なく変更することがあります。

総合お問い合わせ先
<DoCoMo インフォメーションセンター>

取扱説明書にご不明な点がございましたら、
下記のところまでお問い合わせください。

■ドコモの携帯電話からの場合



(局番なしの) 151(無料)

※一般電話などからはご利用になれません。

■一般電話などからの場合



0120-800-000

※携帯電話、PHSからもご利用になれます。

故障お問い合わせ先

故障、異常かなと思われたら、下記のところ
までお問い合わせください。

■ドコモの携帯電話からの場合



(局番なしの) 113(無料)

※一般電話などからはご利用になれません。

■一般電話などからの場合



0120-800-000

※携帯電話、PHSからもご利用になれます。

※ダイヤルの番号をよくご確認の上、お間違いないようおかけください。

販売元 NTT DoCoMoグループ

株式会社NTTドコモ北海道

株式会社NTTドコモ

株式会社NTTドコモ北陸

株式会社NTTドコモ中国

株式会社NTTドコモ九州

株式会社NTTドコモ東北

株式会社NTTドコモ東海

株式会社NTTドコモ関西

株式会社NTTドコモ四国

製造元 パナソニック モバイルコミュニケーションズ株式会社

'08.4.1版
3TR100046A-1